

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(北星中)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・子供たちに身に付けさせたい力を知る。
- ・教育活動の流れを知る。
- ・学校と地域とのよりよい連携について考える。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・R6学校経営構想を読み返すことで学校運営に対する理解を深めることができた。
- ・変化の激しい社会に対応し、未来を切り拓く力を育みたい。そのために学力保障、人間形成、安心安全な学校、個に応じた支援、社会に開かれた教育課程等を重点課題とし、活動につなげる取組を皆で考えていくことを話し合うことができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・休日部活動について「中学校地域クラブ」「地域クラブ」での活発な意見交換がり、今後に備えた検討が有意義だった。
- ・学校運営の基本方針を具現化するための「花いっぱい運動」「防災活動」について、地域の人と共同し、交流したり、学ぶ場をつくったり、学校支援活動を話し合うとともに具体的な活動にまで結びつけられたことを知ることができた。
- ・地域クラブの指導者としての実状や意見を積極的に発信するようにする。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・保護者に対するCS情報の発信が必要。
- ・学校HPへの議事録の掲載、学校ブログなどで情報発信しているが、いずれも情報を取りにいかないと情報が得られない手法である。それ以外でさくら連絡網のような共通なツールを検討していく必要がある。これは自治会の情報共有の課題とも似ている。Web会議として発信することも検討してもよいと思う。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- ・いじめ問題は重要課題であり、生徒を見守り、深刻な状況にならないように慎重に進める必要がある。
- ・不登校生徒に対する対応や自傷行為、家庭内暴力等に関する知識や対応についての理解を深める。
- ・学校部活の地域移行を意識した競技の普及・発展を考えなければならない。
- ・地域に協議会の存在と協議事項や課題を認識していただくための情報発信の仕方や意見集約の手法の検討。